

出雲市モデルカリキュラム 第6学年（総合的な学習の時間）

| 月            | 単元名  | 単元目標・めあて  | 学習内容の概要                                  | 学校図書館等の活用                            |  |   |
|--------------|--|---|--|--------------------------------------|--|---|
|              |  |   |  | ねらい                                  | 活用する場面・方法  | 活用する図書資料等                                 |
| 12<br>1<br>2 | 地域に笑顔を～北陽を愛する人を増やそう～<br>〈小単元〉<br>北陽地域のためにできることを提案し、実現しよう | <p>・北陽地域の活動に体験的に取り組んだことを活かして、地域の人を笑顔にするために考えられる内容を見出し、その実現に向けて粘り強く取り組もうとする【学びに向かう力、人間性】</p> <p>・他地域の事例などの情報を収集し、整理・分析しながら取組への理解を深め、プレゼンテーションに向けて効果的に資料を活用し、表現する力を身に付ける。【思考力、判断力、表現力】</p> <p>・地域の活性化のためには、人が地域を守ろうとする意志だけでなく、あらゆる観点から物事を考え、課題解決していく必要があることを知る。【知識及び技能】</p> | 1 町の活性化のために、他地域で行っている取組を知ろう（国語：10時間）     | ・他地域の取組を知る。                          | <一斉指導><br>並行読書を実施するとともに、グループ活動で他地域の取組について話し合い、理解を深める。  | 題材に関する図書資料                                |
|              |  |   | 2 北陽地域のために自分たちにできることを調べよう（総合：2時間）        | ・目的に応じて情報を取捨選択し、整理、分類する。             | <個別学習><br>家族や地域の方にインタビューをしたり、インターネットで他地域の取組について調べたりする。 | 情報カード                                     |
|              |  |   | 3 他地域の取組について考えを深めよう（総合：2時間）              | ・取組についての理解を深める。                      | <グループ学習><br>取組に対する疑問点や改善点について話し合う。                     | 題材に関する図書資料                                |
|              |  |   | 4 北陽地域のためにどんな取組ができるか考えよう（総合：1時間）         | ・地域のためにできることを提案する。                   | <グループ学習><br>個別で調べてきたことを発表し、北陽地域のよさや課題について把握する。         | 思考ツール（座標軸）                                |
|              |  |   | 5 北陽地域のために取り組む内容を決めよう（総合：1時間）            | ・地域のために実現したいことを決める。                  | <グループ活動><br>北陽地域のよさや課題をもとに、取り組む内容を決める。                 | 思考ツール（ピラミッドチャート）                          |
|              |  |   | 6 プレゼンテーションの準備をしよう（総合：5時間）               | ・発表内容を工夫して構成する。                      | <グループ学習><br>プレゼンテーションのために必要な情報や資料を取捨選択し、発表の準備や練習をする。   | プレゼンテーションに係る図書資料<br>写真、図、グラフ、絵など          |
|              |  |   | 7 プレ発表会を開こう（総合：1時間）                      | ・資料を効果的に使用して発表を行う。                   | <一斉学習><br>グループごとに図書資料や取材で得た情報を活用しながら資料を作成する。           | 他のグループが参考にした図書資料など                        |
|              |  |   | 8 疑問点や改善点について話し合おう（総合：2時間）               | ・よりよいプレゼンテーションにするために疑問点や改善点について話し合う。 | <グループ活動><br>他の班から指摘された疑問点や改善点について話し合い、改善策を考える。         | 思考ツール（座標軸、ピラミッドチャート、フィッシュボーン、XYチャート、くま手図） |
|              |  |   | 9 第1回プレゼンテーションを行う（川跡コミセン・鳶巣コミセン）（総合：2時間） | ・内容が相手に伝わるように意識し、プレゼンテーションを行う。       | <一斉学習><br>自分たちの思いが伝わる発表になるように、相手を意識し、工夫して発表する。         | プレゼンテーションに係る図書資料<br>写真、図、グラフ、絵など          |
|              |  |   | 10 第2回プレゼンテーションを行う（保護者へ）（総合：1時間）         | ・内容が相手に伝わるように意識し、プレゼンテーションを行う。       | <一斉学習><br>自分たちの思いが伝わる発表になるように、相手を意識し、工夫して発表する。         | プレゼンテーションに係る図書資料<br>写真、図、グラフ、絵など          |
|              |  |   | 11 選ばれた取組を実現しよう（総合：3時間）                  | ・地域のために提案したことを実現させる。                 | <一斉学習><br>今までお世話になった地域の方に感謝の気持ちをこめて、活動する。              |   |